

## まちなかの再開発事業支援と地域活動支援について

6月定例会一般質問より

まちなかの再開事業等支援事業に27億円の予算がかけられている。市民生活に直接かわる事業費を減額して、本当にまちなかの賑わいを創出できるのか。

当初予算では、すべての事業の見直しと団体への補助金を平均10パーセント削減し、公民館運営費、教育事業費も大幅減額をした。どこを減額したのか。



公民館は、地区における協働のまちづくりと住民主体のまちづくりの要。公民館に活力が生まれなければ、地域の活性化や特色ある地域づくりの施策も前へ進めることができない。現場の実情を再度聞き取り、公民館の運営費の不足分については今年度中も柔軟に対応すべき。



市民は我慢しながら不承不承、減額された予算でやっていることを理解して援助をお願いしたい。まちなかに賑わいを戻そうとしているのはわかるが、市民活動に支障のある予算編成をしてはならない。市民は不承不承、我慢をしている。このような状況で福井市に元気・活力がでるだろうか。現在の施策では、まちなかに賑わいが戻るとは、私は思えない。

◆都市戦略部長 市街地環境の整備に努めることで、福井市民にとって魅力あるまちとなるよう民間の再開事業を支援している。北陸新幹線開業にむけた民間投資が活発にみられるため、市民の理解を得ながら県都の顔にふさわしい賑わいのあるまちづくりを進めたい。

◆教育部長 公民館運営費は実績がない報償費の削減や食料費の見直し、教育事業費は類似事業などの整理統合や選択事業の廃止など制度変更を行い、公民館交付金全体では8%の減額とした。各公民館からはもろ手を挙げてではないが、不承不承ということで市の状況を踏まえて御理解をいただいた。

◆教育部長 公民館事業に影響が出ないよう現場の状況をしっかりと確認し、対応していきたい。また、円滑な公民館運営ができるよう、次年度に向けた予算編成にも努める。

泉和弥は現在、建設委員会、議会運営委員会、予算特別委員会、観光振興歴史文化活用対策特別委員会、議会だより編集委員に所属しています。

市政に関する要望、相談をお寄せください

☎ 090-8268-0454

メール : info@izumikazuya.jp

FAX 0776-53-4659



検索 泉かずや



# 福井市議会議員

活動報告

# こんにちは！泉かずやです。

発行：泉和弥事務所 〒918-8231 福井市問屋町1-10 ユニックスビル1F-112

☎ 090-8268-0454 Mail : info@izumikazuya.jp

FAX 53-4659

発行責任者：泉和弥

日頃は、泉和弥の議員活動にご理解ご支援いただき、誠にありがとうございます。3期目の議員活動でも医療・福祉や地域交通、人口減少など本市が抱える様々な課題解決のために全力で取り組んでまいります。



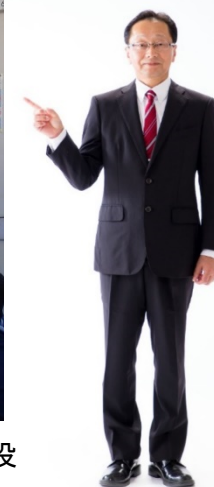
大村市行政視察：新幹線開業に向けた取り組み



道路・側溝の改良、安全対策



小学校にて認知症サポーター養成講座の講師役



こども園にて草もちづくり



伊達市行政視察：  
漁業資源の育成について



議会だより編集委員長として、  
はたちのつどい実行委員と対談



## 12月定例会一般質問より

### 中山間地や小規模農家への支援を強化すべき

中山間地や市街地近郊の農家は農地の集約化が進まない。耕作面積の小さな農地で営農、農地の保全に取り組まれている方々に対する施策が必要ではないか。

近年、農業法人化したところでも担い手不足から耕作地を他の法人に頼むケースが見受けられる。農業就業者の平均年齢が高齢化傾向にあるなか、どのような政策を第2時福井市農業活性化プランで掲げているの

◎農林水産部長 地域の高齢者や女性、Uターン者の農業参加を進めるため農業資材や小農機具購入の支援により小規模園芸や家族農業への取り組みを進めます。

◎農林水産部長 本市の就業者の平均年齢は70歳となっているため、新規就業者の確保やスマート農業による農作業の省力化、栽培技術の共有化を図り人という生産基盤を維持していきます。

### 水銀灯の計画的切り替えを進めよ

水銀による汚染防止を目指した「水俣条約」に伴い水銀灯の製造や輸出入が禁止され、将来入手が困難になる。福井市は、水銀灯からLEDランプなどへの切りかえが計画的にできているのか。

◎建設部長 道路照明灯2919基のうち885基、公園内照明灯938基のうち629基が水銀灯で、従来は劣化による交換で過去3年間約39基交換している。LED化については今後検討していきます。

◎教育部長 学校体育館に2074基、その他スポーツ施設等に582基の水銀灯があり、学校体育館で約1500万円の電気代がかかっている。経費削減の観点から学校体育館の照明から計画的に交換していきます。

福井市では道路・公園内照明灯について平成25年に一度検討したが、初期投資に一基あたり30万円弱かかるということからそのままになっている。市民生活に影響が出ないよう計画的に切り替えをすれば、まちなかの投資額より割安と考える。



## 12月定例会一般質問より

### 避難所のマンホールトイレや避難所運営キット、特設公衆電話の配備充実を

毎年、避難所へのマンホールトイレの整備を行っているが、限られた予算の中でどのくらいの期間をかけて市内のどの範囲までマンホールトイレを整備するのか？

◎市民生活部長 マンホールトイレは現在19地区に整備され、令和3年度までに公共下水道が整備されている残り15地区に整備します。

集落排水や合併浄化槽方式の地域にある避難所にはマンホールトイレは整備できるのか？

◎市民生活部長 処理能力接続方法などに問題があり、整備の可否については個々の検討が必要となります。

大田区や守山市などで配備している避難所開設キットや熊本大学の避難所初動運営キットなどを参考に各避難所への配備を検討して欲しい。

◎市民生活部長 本市では初動時に必要な受付簿等の書類、外国人とのコミュニケーションボード等をまとめた避難所対応バックを各公民館に配備している。今後、案内標識や電源タップなど必要な備品について他市町を参考に整備していきます。

災害時に避難所に避難した方が、家族等の安否確認を行うことができる特設公衆電話を整備する自治体が増えている。本市ではどうなっているのか。

◎東村市長 11月にNTT西日本と「特設公衆電話の設置、利用に関する協定」を交わしました。令和2年度中に市内すべての小学校及び公民館の回線工事を行います。

**特設公衆電話**は、災害発生時、避難所に避難した方が無料で家族等の安否確認を行うことができる公衆電話です。特設公衆電話は市町村の要請に基づき避難所に事前にNTTが回線を構築し、避難所が開設された際に施設管理者により電話機が設置され利用可能となります。

